㊙

教育費計画書（基本方針）

2015年度版

Ⅰ　これからの進路について

1. 中学校までは義務教育なので

いかなければならない！！

1. 高校からは義務ではないが

行った方が良い！！

1. 高校に進学する　・９９％
2. 中卒で働く　・１％
3. ニート（働かない、勉強しない人の事）　・0.1％
4. 高校（高等学校）の種類

大きく分けると

1. 公立
2. 私立（わたくしりつとも読む）

市立との混同を避ける為）

1. 公立とは

国や県が１００％運営している（県立、市立など）

1. 私立　民間の会社が運営している（営利目的）

公立、県立の良い所

1. 徒歩、自転車で行ける
2. 授業料が安い
3. 自分の勉強レベルにあった高校を受験できる

私立の良い所

1. 部活の強豪校が多い
2. そのまま大学に進学できる高校が多い

しかし！！

私立高校の授業料は高い！！

公立は高校3年間で

150万円で済みますが・・・

私立では高校3年間で

300万円もかかります。

ですから、ぜひとも高校は公立

に行ってほしい！！

突然ですが

うちは貧乏ではありません。

普通の家庭だと思ってください。（中の中

位）

なぜこんなことを言うのかというと・・・

今の時代はこの普通の家庭で

大学卒業までの進学費用を出すのが難しい時代になっています。

それは単純な理由です。

1. お父さんのお給料は上がらない（うちだけじゃないよ）
2. 学費は値上がりし続けている

奨学金（しょうがくきん）というものがあります。

これは大学に行くために学費を借りたときのお金のことです。もちろん借りているので返さなくてはなりません。

この奨学金を借りているのが大学生の５０％を超えました。

2014年時点

しかもこの奨学金は親が返済するのではなく、

本人が返済する、借金です。

この奨学金を借りると

大学卒業後に社会人になってから15年間月々2万円を返済しなければなりません。（私立大学の学費350万を借りた時）

それなら大学には行かなくても良いと考えるかもしれませんが大学は卒業した方が良いのです。何故か？（なぜか？とよみます）

大学に行った方が良い理由

1. 4年間好きな勉強が出来る

（専門的なこと）例えば歴史、

経済、文学、政治、スポーツ、英語、数学など

1. 大学の4年間で自分の進路をゆっくりと決める時間的余裕がある。これをモラトリアムと言います。（猶予期間）ゆうよきかんと読みます。
2. 長期休みが多いので自分の好きな事にチャレンジする機会が多い。

例）春休み2か月、夏休み2か月、冬休み１か月位

1. 大学への進学率が今は５３．４％の時代、大学卒業じゃないと就職できない会社が多い！！
2. お給料が全然違う

生涯賃金　大卒　　3億円

　　　　　高卒　　2億円

　　　　専門卒　2億2千万円

ということからも

大学には進学した

方が良い！！

Ⅱ　高校卒業後の進路は？

1. 大学に進学する・・・53.4％
2. 専門学校に進学する・21.3％
3. 高卒で働く・・24.4％
4. ニート（自宅警備員になる）・0.09％
5. 大学の種類

大きく分けると

1. 国公立の大学
2. 私立の大学

で高校と同じです。

国公立の大学の良い所

1. 国が運営している為学費が安い
2. 学力水準が高く、就職に有利

例）東京大学、横浜国立大学

私立大学の良い所

1. 国公立大学よりも入試の科目が少なく入学しやすい。
2. 多くの大学がある為自分の学力に合った大学を選べる

例）早稲田大学、慶応大学

○国公立は行くのが難しいが学費が安い

○私立は行くのはやさしいが学費が高い

大学種別進学状況

国公立・・・2割

私立・・・8割

と圧倒的に私立が多い

国公立に入れるのは上位2割の生徒だけ。何がそんなに難しいのか？

それは・・・

国公立の試験は5科目あり

全てが出来なくてはならない

英国数理社の5科目

私立大学の受験は1科目～3科目で受験が出来るので入りやすい。（得意科目で勝負が出来る）

国公立に入る為には塾などに通って5科目もれなく勉強しなければならない。国公立用の塾もあります。

高校1年生から塾に通うとすると月25000円×12か月×3年間で

90万円かかります。

中学1年生からとすると

月25000円×12か月×6年間で

180万円かかります。

180万円もかけて国公立に行ったとしても自分の学力に合った私立に塾なしで入学した方が

学費は安くなります。

私立大学でも早慶上智、MARCHクラスならいわゆるブランド校と呼ばれており、国公立と同じレベルとなります。

○その他の大学であっても有名大学はいっぱいあります。

・駅伝の強い駒澤大学とか

○無名大学でも良い大学はいっぱいあります。

大学名ではなく自分の学力に合った大学を選んでください。

○浪人について

現役で合格しなくて1年間勉強して受験する人のことをいいます。それでも行きたい大学であれば挑戦してください。

○自宅外通学の場合

仕送りの額は平均で4年間456万円とてもお支払できません。ただし自分の生活力に自信のある方は頑張ってください。

Ⅲ　大学の進学費用は

4年間学費（教科書代、交通費）含む

1. 国公立・・200万円
2. 私立・・・350万円

大学進学には本当にお金がかかります。この多額の金額の為に50％以上の大学生が奨学金を利用しているのが現在の姿です。

ここで悲しいお知らせです。

この奨学金の滞納率（たいのうりつ）（3か月以上滞納した人）が現在は１０％を超えました。

社会人になってからも学費を自分で払い続けるのは非常に難しいことなのです。

その他にも大学受験には色々とお金がかかります。

例えば受験料などです。

1. 大学受験料・・・20万円

センター試験　2万円

大学1校受験　35000円

×5校（志望校＋すべり止め）

Ⅳ　中学校から大学卒業までかかるお金

○中学生の教育費（3年間）

公立・・・47万円

私立・・・127万円

○高校生の教育費（3年間）

公立・・・150万円

私立・・・300万円

○大学生の教育費（3年間）

公立・・・200万円

私立・・・350万円

今、大学に行っている学生の

５０％以上が

中学生　公立

高校生　公立

大学生　私立

のコースで進学しています。

すると教育費の総額は

47万円＋150万＋350万＝547万円になります。

受験料やその他を加えると

600万円位はかかります。

これは塾などの学校外学習費を除いた金額になります。

中学1年生からの塾費用を追加させると＋180万円で

780万円が必要となってきます。

今、現在大学、高校の経済的理由からの中退者が増えております。特に大学を中退している人が増えています。

理由はもうわかりますよね

小さな時から習い事や塾に通わせて良い大学、高校に進学させましたが・・・生活が苦しくて退学をせざるを得ないケースが多いのです。

これを本末転倒（ほんまつてんとう）といいます。

このような事態をまねかないようにするにはどうすれば良いのでしょうか？

Ⅴ　教育費基本方針

1. 大学進学に奨学金は使わない
2. 大学進学の為に塾は行かない（季節講習、模試は別）
3. 大学進学の為のルール決め
4. 大学進学に奨学金は使わない

私立大学は初年度に150万程の学費がかかります。4年間では350万円です。

この大学進学費用350万円を大学入学前に貯金します。

2人分で700万円です。

公立の高校の入学までに高校3年間の学費150万円を貯金します。

2人分で300万円です。

高校卒業までの学費はすでに用意しております。

今は高校卒業までの学費以外に大学卒業までの学費を貯金している最中です。

合計2人で1000万円を貯金したいと思っております。(大学入学前に)

これ以上は出してあげることは不可能です。現実をご理解ください。

1. 大学進学の為に塾は行かない（季節講習、模試は別）

まずは学校の授業を聞いてください。一番大事なのは学校の授業です。

高校試験も大学試験も90％は教科書の中からしか出題されません。塾は残りの10％をフォローする為のものです。（知らなかったでしょう）

教科書だけを7回読んで東京大学に入学したという人がいます。この人は東大法学部を首席で卒業して弁護士になった

山口真由さんといいます。

入試の問題は教科書から９０％出ることを考えるとこれは非常に良い勉強方法です。

私も日本史の教科書を100回読んで偏差値が70ありました。

例として挙げましたがまずは教科書が一番の基本になります。塾は残りの１０％の教科書に載っていない難問・奇問を勉強するところです。

塾にいかない方が良い理由

1. 最大の理由は学習範囲が広がりすぎること

塾は商売ですから質と量でお金を払った分だけ厚いテキスト、宿題を課します。

するとそれを高いお金を出してせっかく塾に行っているのだからと頑張って勉強します。

しかしいつまでたってもテキストや宿題が終わらないのです。しかも試験に出るかどうかも分からないような問題もあります。

このようなものに時間をかけるよりは教科書を７回読む方が勉強になります。

また塾に行くと往復の時間、準備の時間、予習、復習の時間と

とにかく時間を多くとられます。

それよりも自宅で出来る通信教育の方が時間的な余裕があり身につくと思います。（学習範囲が広がりすぎない程度に勉強することが一番大事です）

季節講習について

夏期講習、冬期講習などについてはお任せします。

一度見ておくのも悪くないと思います。季節講習なら学習範囲が広くならない為です。

模試の活用について

模試は可能な限り受けてください。別に結果が悪くても良いです。自分が全体でどのレベルなのか？どの教科が他人と比べて得意なのか知る為です。

模試とは模擬試験の略称です。

本番の高校入試試験前に何回か受けると本番の時に緊張しなくなります。それだけの効果があります。

中学２年生、高校２年生位から

受けてみてください。回数多ければ多いほど慣れると思います。（各模試2,000円位、安！）

1. 大学進学のためのルール
2. お小遣いの額を決めました。

中学1年生　1000円

中学2年生　2000円

中学3年生　3000円

高校生　　　5000円

1. 高校生からは新しいケータイやスマホが欲しかったら

自分でやりくりしてください。（アルバイトを推奨します）

1. 大学や社会に出るとパソコンスキル(ワード、エクセル、タイピング)が必須なため、

高校入学時にノートパソコンを1人１台支給します。

1. 習い事に関してはどうしてもやりたいことは言ってきてください。やりたいことは

やった方がいいです。要相談

パソコン教室おすすめ！！

Ⅵ　家庭の経済状況

1. 今の貯金の額

８００万円位あります。だから安心して遊びや勉強、部活に専念して下さい。（ただし住宅ローン（借金）が１３００万程有）

1. お給料の額について

毎月３０万円程もらっています。しかしその中から税金や社会保険料で４万円引かれるので２６万円が手取りです。

1. 支出項目について

住宅ローンなど・・・６万円

水道光熱費・・・・・２万円

食費・・・・・・・・５万円

通信費・・・・・・・１万円

生命保険料・・・・・１万円

生活日用品・・・・・１万円

医療費・・・・・・・１万円

教育費（通信教育）２人分

６５００円×２名・・1.3万円

娯楽費・・・・・・・１万円

小遣い・・・・・・・4.3万円

合計23.6万円が支出です。

26万－23.6万は2.4万円が毎月黒字になっております。

毎月の給料から2.4万円×12か月で28.8万円になります。

毎年2回賞与（ボーナス）というのがあります。これが夏、冬合わせて手取りが約60万円あります。そこから旅行費用や帰省費用を出しております。

旅行費用や帰省費用で20万程かかりますので残りは約40万円です。この残りは全部貯金しております。毎年貯金できているのは70万円程になります。

5年後には350万円が上乗せされて今ある800万円と合わせて1150万円となる計算です。

これで2人が大学進学までに1000万円は貯めることが出来ます。

最後に伝えたいこと

大事なことは青春時代を楽しむということです。良く遊び、学び、楽しく健康に過ごしてほしいと思っております。青春時代は１度しかないのです。

おまけ(連絡事項)

２０１５年６月３０日に角川書店から発売される漫画学習シリーズを全巻導入します。





この本は「ビリギャル」の著者の坪田先生のさやかちゃんに伝えた日本史の勉強法です。漫画ですから楽しく勉強ができます。私も楽しみです。

○○区勉強会について

○○区では無料で勉強を見てくれる塾があります。週に１回の塾ですが○○大学の学生がボランティアで宿題やわからないところを教えてくれます。

時間は火曜日の18:00～20:00

場所は○○区役所の横の3階です。

自分でテキストを持ち込んで教えてもらうような形です。

中学1年生から3年生が対象になりますので興味があったら相談してください。申し込みが必要です。毎週行く必要はありません。超便利です。

お得情報

大学進学の生徒の中には給付生というのがあります。これは返済不要の奨学金になります。

給付生や特待生という名前でどこの大学にもあり、入試の

得点の上位１０％位は授業料などを免除するというものです。覚えておいてください。

例）神奈川大学給費生制度

各学部100名を対象に7学部

700名に480万円を4年間で支給する制度。返還義務なし。学費ただで大学に行ける制度